

Android OS搭載 & バッテリー駆動プロジェクター

ミニプロジェクター M-i1



ミニプロジェクター M-i1 使用説明書

ご使用前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。

目次

ご使用の前に	3	マルチメディア	27
告知事項	3	設定	27
安全にお使いいただくために	3	Wi-Fiネットワーク接続	
電波法について	3	USB	
電波に関するご注意		音	
安全のための警告/注意事項	4	ディスプレイ	
設置について		ストレージ	
電源について		電池	
取り扱いについて		アプリ	
メンテナンスについて		セキュリティ	
LED光源について		言語と入力	
製品の特長	7	リセット	
Bluetoothスピーカー機能	7	日付と時刻	
補助バッテリー機能	7	開発者向けオプション	
プロジェクター機能	7	デバイス情報	
Android OS搭載	7	アプリケーション (My App)	31
基本構成	8	アプリケーションを使用する	31
同梱品の確認	8	音楽	
各部分の名称	9	動画	
各ボタンのはたらき	10	アルバム	
基本操作	11	ファイル管理	
充電機能	11	電卓	
充電時間および標準使用時間		時計	
電源ON/OFF	12	アプリインストーラー	
Bluetooth® モードで起動する		ダウンロード	
プロジェクターモードで起動する		EshareServer	
電源を切る		Camera Connect	
フォーカス調整	14	WPS Office	
音量調整	14	USB接続	34
初期化	14	リムーバブルディスクとして使用する	34
タッチパッド	15	USBメモリの認識	35
選択/実行		USBマウスの認識	35
メニュー表示		USBメモリを利用して本製品のファームウェアをアップデートする	35
画面を上下に移動する		補助バッテリーとして使用	37
画面を左右に移動する		外部スピーカーを使用する	37
Bluetooth®	17	困ったときには	39
Bluetooth®接続時の注意事項	17	電源が入らない	39
Bluetooth®ペアリング	17	無線接続されない	39
ソースデバイス側でBluetooth®ペアリング	18	画面が梯子状に出る	39
ソースデバイス側でBluetooth®ペアリングを解除	18	製品が動作しない、または電源OFFにできない	39
Bluetooth®スピーカー (ハンズフリー) として使用する	18	DLNA接続した後、動画を再生できない	39
Bluetoothスピーカー (ハンズフリー) 機能ボタン		その他	39
プロジェクター	20	登録商標	40
無線接続時の注意事項	20	製品仕様	41
ホーム画面	21	保証とアフターサービス	42
ミラーリング	22	この商品には保証書がついています	42
ミラーリング接続 (Android OSの場合)		修理サービスのご相談	42
ミラーリング接続 (Windows PCの場合)		修理を依頼される前に	42
シェアリング	24	修理方法	42
シェアリング接続 (iOSの場合)		修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと	42
My App	26	補修用性能部品について	42
Webブラウザ	26		

ご使用前に

告知事項

本書に使用される製品の画像と表示画面は、イメージであり、実際とは異なる場合があります。また製品の品質向上のため、予告なしに変更、新しいコンポーネントの追加、削除されることがあります。予めご了承ください。

安全にお使いいただくために

ユーザーの安全を守り、財産上の損害を防止するための内容です。本製品使用前に、必ず使用説明書を読み、注意事項および操作方法に従って下さい。

電波法について

『本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備です。』

 T AD17-0062005 R 005-101495 Indoor use only

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz/5GHz 帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください

心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。

電子レンジの近くでは使用しないでください

電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。

本製品と無線デバイスの間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません

本製品と無線デバイスの間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなかったり、通信速度が低下する場合があります。その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。

移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、お客様相談センターへご連絡の上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

安全のための警告/注意事項

 **警告：** 取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

 **注意：** 取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

-  **警告**
- ・ アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - ・ アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。万一、内部に入った場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、買い求めの販売店にご連絡ください。
 - ・ 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。
-  **注意**
- ・ 次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。不安定な場所/振動のある場所/雨や雪が降りかかるような場所/高温になる場所/火気に近い場所/通風口をふさぐおそれのある場所（壁の近く、ベット・ソファ・毛足の長いじゅうたんの上等）/風通しの悪い場所/湿気やホコリの多い場所/屋外や直射日光の当たる場所
 - ・ 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になります。

電源について

-  **警告**
- ・ 付属の電源アダプター以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 電源アダプターを傷つける、加工する、引っぱる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源アダプターに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - ・ タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ USBケーブルを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 電源アダプターは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。
 - ・ 本機に付属の電源アダプター接続して使用する際は、非常時にすぐ電源アダプターが抜けるよう、本機をコンセントの近くに設置し、電源アダプターの周囲に物を置かないでください。

取り扱いについて

-  **警告**
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源アダプター、ケーブル類、気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険です。
 - 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、本体の電源を切り、ただちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危険です。
 - 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
 - 本機に内蔵されているバッテリーは着脱できません。本機を熱源や火のそばに置かないでください。
 - 経年劣化によるバッテリー寿命時は、交換修理対応となります。
 - 本機を初めてご使用する際や、長期間使用していなかった場合は、あらかじめ十分に充電してからご使用ください。
 - 長期間使用しない場合は、0~40℃の室温にて保管してください。

メンテナンスについて

-  **警告**
- 清掃のときは、電源をお切りください。火災や感電の原因になります。
 - 電源アダプターを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になります。
 - 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因になります。
 - 電源アダプターは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になります。

LED光源について

-  **注意**
- 使用中は強い光が出ていますので、投写レンズを覗きこまないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
 - 本製品の投写光は、IEC62471に基づくリスクグループ2（RG2）に分類されます。

Risk Group 2	リスクグループ2
CAUTION. Possibly hazardous optical radiation emitted from this product. Do not stare at operating lamp. May be harmful to the eye.	注意。 本製品から危険の可能性のある非常にまぶしい光源が放出されます。動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。

製品の特長

Bluetoothスピーカー機能

Bluetoothスピーカーとして使用でき、またマイク機能もあるので音声会議などのマイクスピーカーとしても使用できます。

補助バッテリー機能

単独補助バッテリーとして使用できます。充電したいデバイスに接続してください。



注意

iOS搭載デバイスの充電時は、本機の電源もOnにしておく必要があります。Android OS搭載デバイスの充電時は、本機の電源をOnにする必要はありません。

プロジェクター機能

他のデバイスと簡単に無線接続し、ミニプロジェクターとして使用できます。



注意

本プロジェクターとスマートデバイスなど他の機器の接続方法は、無線接続のみ対応しています。有線ケーブルを用いた接続方法には対応していません。

Android OS搭載

タッチパッドを操作して、本機からインターネットに接続できます。



注意

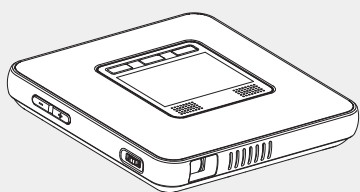
別途モバイルWi-Fiルーターなどインターネット通信環境が必要です。

基本構成

同梱品の確認



次の同梱品が揃っていることを確認してください。同梱物については、事前の予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



本体



USBケーブル (1m)
Type-A to Micro-USB



かんたんガイド

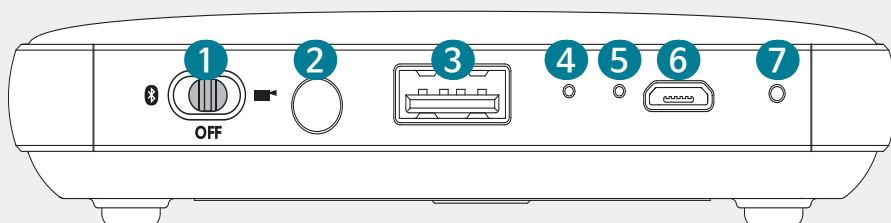
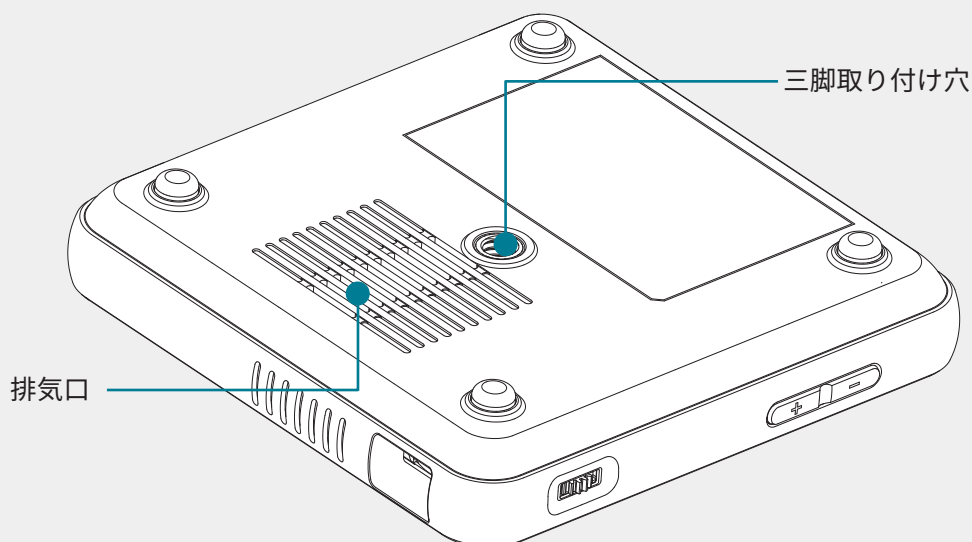
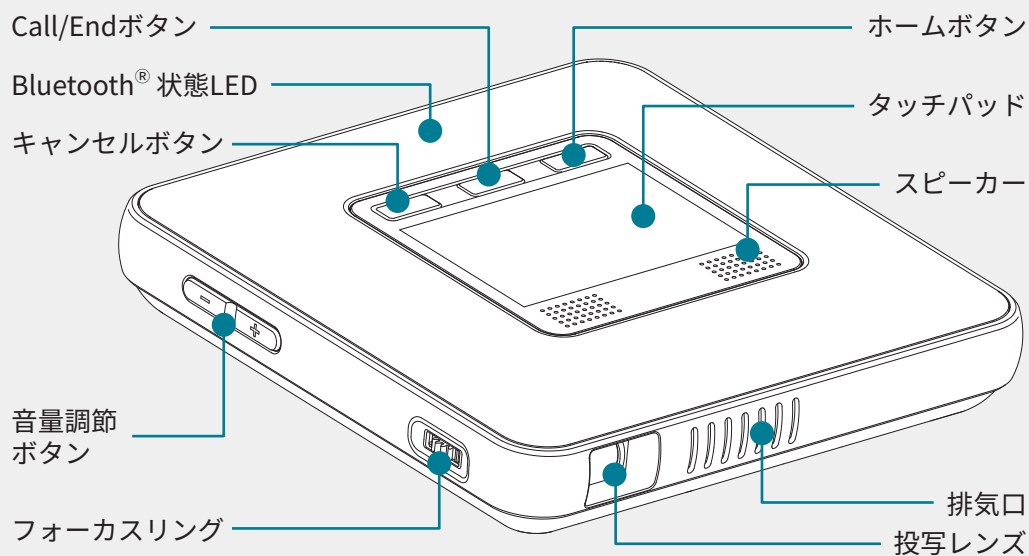


電源アダプター



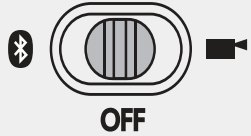
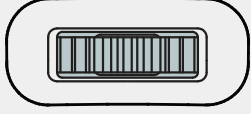
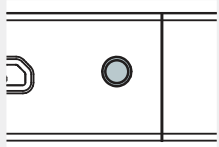
保証書

各部分の名称



- | | |
|-------------------|----------|
| ① 電源スイッチ | ② 音声出力端子 |
| ③ USB Type-A 接続端子 | ④ マイク |
| ⑤ 充電ランプ | ⑥ 電源入力端子 |
| ⑦ 初期化ボタン | |

各ボタンのはたらき

ボタン	動作
電源スイッチ 	- スライドスイッチを右にするとプロジェクターモードの電源がONになります。 - スライドスイッチを左にするとBluetooth®モードの電源がONになります。 - スライドスイッチを中央にすると電源がOFFになります。
ホーム 	プロジェクターモード時：（短く押すと）ホーム画面が表示されます。
Call/End 	- プロジェクターモード時：画面選択のOKボタン機能 - Bluetooth®モード時：携帯電話などから電話をかけたり、受けたり、切ったりすることができます。
キャンセル 	プロジェクターモード時：短く押すと前の画面に戻ります。
音量 	音量を調整します。
フォーカスリング 	フォーカスリングを左右に回して、投写画面のピントを調整します。
初期化ボタン 	製品が動作しなくなったり、あるいは電源がオフにならない場合には、先の細いピンで初期化ボタンを約1秒間押してください。電源がオフになり、初期化されます。

基本操作

充電機能

1. 電源入力端子に本製品に付属のマイクロUSB充電ケーブルを接続します。



注意

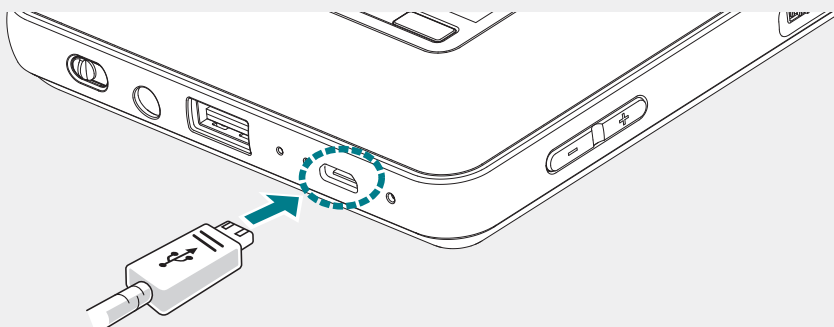
- 必ず本製品に付属のUSBケーブル、電源アダプターを使用してください。付属品以外のUSBケーブル、電源アダプターを使用すると故障の原因となります。
- 市販のモバイルバッテリーなどで充電をされる際は、定格出力が本体製品費用にあうかどうかお確かめの上、ご使用ください。
(本体仕様：5V/2A対応)
定格出力が使用未満の充電器を使用すると、本体が誤動作する原因となります。

2. 充電ランプが緑色に変わったら、充電器と製品を取り外してください。



参考

- 充電ランプが赤色なら充電中、緑色なら充電完了です。



充電時間および標準使用時間

購入後初めての使用時、長時間未使用時には、バッテリーを充電してからご使用ください。

充電時間	最長 4 時間	使用時間	最長 2 時間
------	---------	------	---------



参考

- 充電時間・使用時間は充電状態および使用環境等によって異なる場合があります。
- バッテリーは経年劣化とともに駆動時間が徐々に短くなります。本製品に内蔵のバッテリーは交換できません。経年劣化によるバッテリー寿命時は、交換修理対応となります。

電源ON/OFF

Bluetooth® モードで起動する

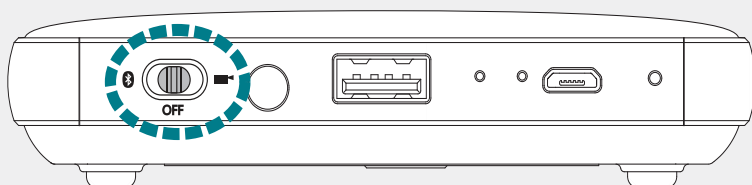


参考

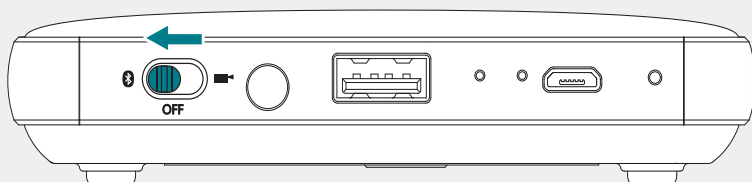
- Bluetooth機能を使用するには、電源スイッチをBluetooth モードにしてください。
- Bluetooth モードで起動しているとき、プロジェクターモードは使用できません。
- プロジェクターモードでの起動については、「プロジェクターモードで起動する (P.12)」を参照してください。

1. デバイスの電源がOFFになっているか確認します。

電源スイッチが中央になっていると、デバイスの電源がOFFになっている状態です。



2. 電源スイッチを左（Bluetooth ）にします。



3. Bluetooth接続待機モードに入ります。

ピープ音が発せられたらBluetooth 接続待機モードに移行完了です。

プロジェクターモードで起動する

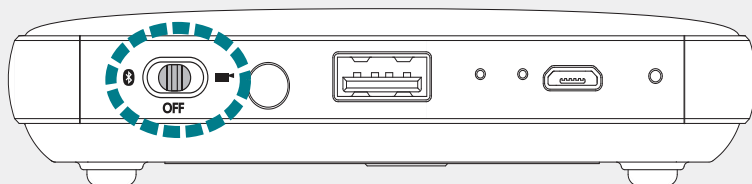


参考

- プロジェクター機能を使用するには、電源スイッチを右（プロジェクター）にしてください。
- プロジェクターモードで起動しているとき、Bluetooth モードは使用できません。
- Bluetooth モードでの起動については、「Bluetooth® モードで起動する (P.12)」を参照してください。

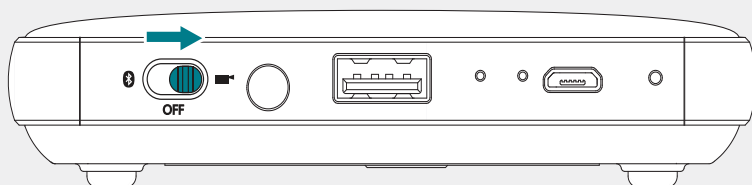
1. デバイスの電源がOFFになっているか確認します。

電源スイッチが中央になっていると、デバイスの電源がOFFになっている状態です。



2. 電源スイッチを右（プロジェクター ■▶）にします。

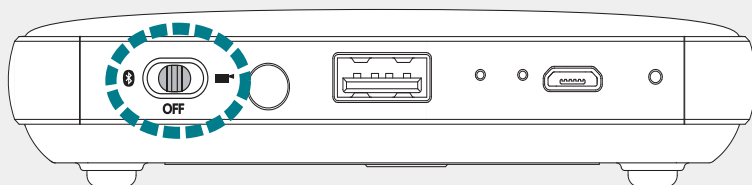
プロジェクターの電源がONになり、投写レンズから画面が投写されます。



プロジェクターモード時にはAndroid OSが起動するため、投写レンズが光を発するまで約10秒程度かかります。

電源を切る

Bluetooth モードやプロジェクターモードになっている電源スイッチを中央（**OFF**）にすると、電源がOFF できます。



- プロジェクターモードの場合、電源スイッチを中央（OFF）にすると、投写画面上に 終了（Power off）確認のダイアログ ボックスが表示されます。（OK）を選択すると、電源がOFF できます。
- キャンセル（Cancel）を選択すると、引き続きプロジェクタモードで使用できます。その場合は、電源スイッチをプロジェクタモードに戻してから使用してください。



- デバイスが動作しない場合、製品背面の初期化ボタンを押して初期化します。
- 初期化方法については、「初期化 (P.14)」を参照してください。

フォーカス調整

プロジェクターから投写された画面が鮮明になるまで、フォーカスリングを左右に回して調整します。



参考

- フォーカスリングはやさしく回して焦点を合わせて下さい。無理な力を加えると、フォーカスリングの損傷および破損のおそれがあります。
- 投写距離が規定範囲を越える場合、焦点が合わないことがあります。
- 投写距離（製品と画面間の距離）が遠くなるほど画面は大きく、暗くなります。

最小焦点距離	0.5m 画面サイズ：約14インチ
最大焦点距離	3m 画面サイズ：約84インチ
推奨投写距離	1m 画面サイズ：約28インチ

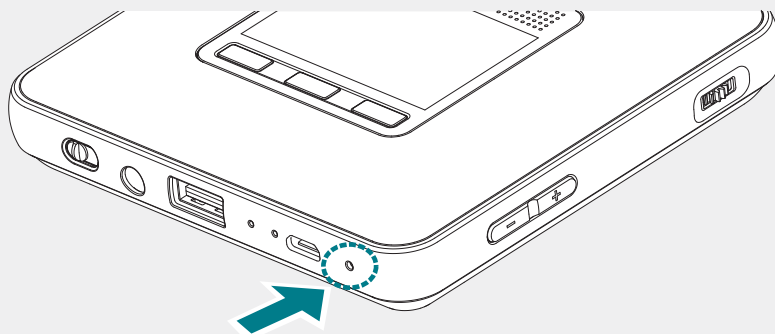
音量調整

音量調節ボタン（＋、－）で調整します。使用中に音量調節ボタンを押すと、画面に音量調節状態が表示され、音量を調整しながら確認できます。

初期化

製品が動作しない、または電源OFFにならない場合は、初期化してください。

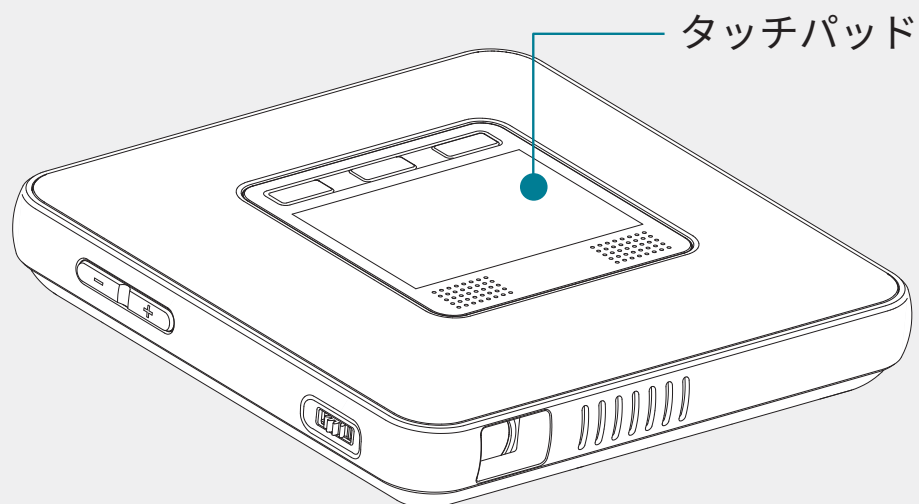
1. 爪楊枝などの、伝導性のない細いピン状のもので、初期化ボタンを約1秒間押して下さい。



2. 電源OFFになり、初期化状態になります。
製品の電源が一時OFFになり、再起動します。

タッチパッド

プロジェクターから投写された画面から、タッチパッドを操作してメニューの選択、アプリの実行、ボタンのクリック、ソフトキーボード入力などができます。

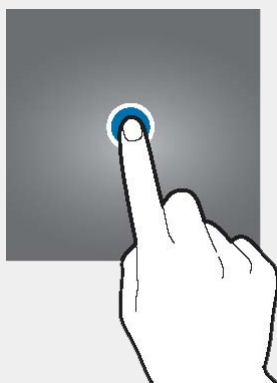


参考

- タッチパッドに、電気が通っている物が触れないようご注意ください。静電気等の電氣的刺激により誤作動や故障を起こすことがあります。
- タッチパッドの端はタッチ認識しない部分のため、該当部分はタッチパッドが正常に動作しないことがあります。
- タッチパッドは指でタッチして下さい。

選択/実行

アプリの実行、目的メニューの選択、画面表示ボタンのクリック、ソフトキーボード入力の際は、タッチパッドを軽くタップします。



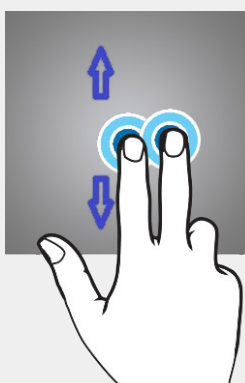
メニュー表示

機能利用中に特定の項目や画面を2秒以上長く押すと、利用できる機能が表示されます。



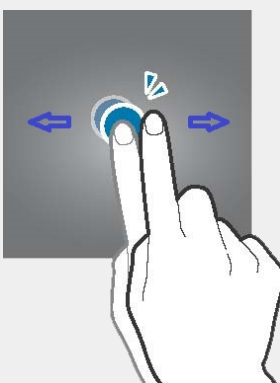
画面を上下に移動する

画面を上下方向に移動させるには、タッチパッドを二本の指でタップし、上下にドラッグします。



画面を左右に移動する

画面を左右方向に移動させるには、タッチパッドを二回タップし、押した状態で左右に長めにドラッグします。または、ページ送りの矢印か、該当ページへのポイントをタップします。



Bluetooth®

Bluetooth®接続時の注意事項

- Bluetoothモードとプロジェクターモードは併用できません。
- Bluetooth接続デバイスや接続環境により、無線接続の品質が異なる場合があります。
- 該当無線設備は電波混信の可能性があります、人命の安全に関連するサービスは行えません。
- Bluetooth機能を利用し送受信したデータの損失、遮断及び誤用の問題に対して、当社では一切の責任を負いかねます。
- データ送受信前に、接続するデバイスが信頼できる/セキュリティ検証済みであることを確認します。データを送受信するデバイスの間に障害物がある場合、接続距離が短くなる場合があります。
- Bluetooth SIG (Special Interest Group) 認証を受けていないデバイスを含め、一部機器と互換性がないことがあります。
- Bluetooth機能を違法な行為（違法公衆送信、違法転送、営利目的の違法複製など）に利用しないでください。それらの行為によって発生する問題について、当社では一切の責任を負いかねます。

Bluetooth®ペアリング

1. 電源スイッチを左にスライドして、Bluetoothの接続待機モードに移行します。ビープ音が発せられます。



参考

- Bluetoothモードでの起動については、「Bluetooth®モードで起動する (P.12)」を参照してください。
- Bluetoothの接続待機モードに入ると、本体上部の青ランプが素早く点滅します。

2. Bluetooth接続が完了すると、お知らせ音とともに本体上部の青ランプが点灯します。



参考

- Bluetooth接続を解除するか、または使用を中止する場合、電源スイッチを中央にスライドして、電源をオフにしてください。
- 本機とペアリング履歴のあるデバイスの場合、自動的に本機と接続されます。

ソースデバイス側でBluetooth®ペアリング

1. 接続するデバイス側で Bluetooth 機能をオンにします。
2. Bluetooth の検索デバイスリストから「MiniPJ BT SPK」を選択します。
3. 本機が検索リストに表示されない場合、デバイス名を表示するオプションをオンにするか、または Bluetooth 機能を再起動してください。
4. Bluetooth 接続が完了すると、デバイスのステータスバーに Bluetooth 接続のアイコンが表示されます。

ソースデバイス側でBluetooth®ペアリングを解除

1. 設定画面でBluetoothを選択します。
2. ペアリングされたデバイス名が表示されます。
3. ペアリングを解除するデバイス名をタップします。
4. 登録解除を選択します。

Bluetooth®スピーカー（ハンズフリー）として使用する

本機はBluetoothスピーカーとして使用できます。また、ハンズフリー機能を搭載しているため、Bluetoothスピーカーとして接続している状態で電話をかける/受ける/切ることができます。



参考

- 電話をかける場合、通話履歴から一番新しい番号に電話がかかります。
- Bluetoothスピーカー機能を使用時は、音声出力端子は動作しません。

1. 電源がOFFの状態ですべて電源スイッチを左にして、Bluetooth モードの電源をONにします。
2. 接続するデバイス側で Bluetooth 機能をオンにします。
3. Bluetoothの検索デバイスリストから「MiniPJ BT SPK」を選択し、接続します。

4. 本機のボタンを操作して、Bluetoothスピーカーおよびハンズフリー機能を使用します。
5. Bluetooth接続を解除するか、または使用を中止する場合、電源スイッチを中央にスライドして、電源をオフにしてください。

Bluetoothスピーカー（ハンズフリー）機能ボタン

- 一時停止/再生：Bluetoothスピーカー使用時に、「Call/End」ボタンを押します。
- 音量を上げる：音量調節ボタンの〔+〕ボタンを長く押します。
- 音量を下げる：音量調節ボタンの〔-〕ボタンを長く押します。
- 前のトラックに移動：音量調節ボタンの〔+〕ボタンを短く押します。
- 次のトラックに移動：音量調節ボタンの〔-〕ボタンを短く押します。
- 電話をかける：「Call/End」ボタンを二回押します。
- 電話を切る：通話中に「Call/End」ボタンを押します。
- 電話を受ける：電話がかかってきている状態で、「Call/End」ボタンを押します。

プロジェクター

無線接続時の注意事項

- スマートデバイスで実行中のアプリケーション等のプロセスにより、無線接続使用中の転送速度に問題が発生することがあります。
- スマートデバイスのOSやメーカーの無線環境により、性能が異なることがあります。
- 本機には「SoftAP」が搭載されており、外部ルーターの接続が無くても無線接続が可能です。DLNAを利用するためには、スマートデバイスや無線に対応するノートパソコンにDLNA対応に必要なアプリケーションやメディアプレーヤーのインストールが必要です。詳しくはお使いの取扱説明書にてご確認ください。
- Android OSを搭載したスマートデバイスからのミラーリング接続には、Android OS 4.2.2以上が必要です。
- iOSデバイスの場合、シェアリング機能を使用するには、iOS 8.0以上が必要です。
- Windows PCからのミラーリング接続には、OSがWindows 8.1でPCのグラフィックおよびWireless LAN、H/W、S/W仕様のミラーリング対応が必要です。
- DLNA方式で無線接続している場合、スマートデバイスのインターネット通信は4Gあるいは3Gでの接続となります。
- スマートデバイスとDLNA接続後に動画を再生する場合、スマートデバイスのプレーヤーによっては、動画を途中から再生すると、バッファリングのために正常に接続されないことがあります。再生する動画ファイルを頭出し状態にしてから接続してください。
- 無線接続モードを変更する際は、必ず接続中のデバイスの通信を終了させてから本機の無線接続待ち受け状態を確認の上、モード切替を行ってください。
- 無線接続環境や機器により、無線品質が異なることがあります。
- 各デバイスに搭載されたOSとの接続は、Canon Korea Business Solutions Inc.による独自の接続動作確認であり、デバイス各社における動作を保証するものではありません。また、接続対応OSの最新バージョン情報については弊社ホームページにてご確認ください。（<http://cweb.canon.jp/mini-projector/connect/index.html>）

ホーム画面

ホーム画面は、製品の主なアプリケーションおよび機能を始めるスタート画面です。ホーム画面のアイコンをクリックし、指定したページおよび機能ウィンドウを開くことができます。

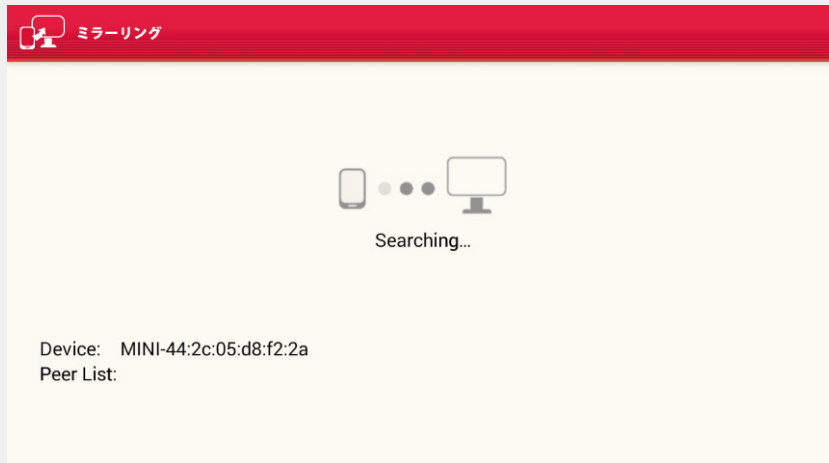


- 1  ミラーリング：Android OSやWindows OSを搭載したデバイスとの接続時に起動します。
- 2  シェアリング：iOSを搭載したデバイスとの接続時に起動します。
- 3  My App：インストール済みの様々なアプリケーションを起動できます。
- 4  ブラウザ：インターネットに接続するために、ブラウザを起動できます。
- 5  マルチメディア：動画、音楽、アルバムアプリケーションを起動できます。
- 6  設定：本機の設定確認、変更ができます。
- 7  ステータスバー：デバイスのステータスアイコンや日付、時間などが表示されます。
 -  100%：バッテリーの残量
 - ：Wi-Fiがオンになっているが、ネットワークに繋がっていない
 - ：Wi-Fiがネットワークに繋がっている
 - ：アラームが設定されている
 - **14:46**：現在の時刻
 - **Mon. Jul 17**：現在の日付

ミラーリング

ミラーリング接続（Android OSの場合）

1. ホーム画面の「ミラーリング」アイコンをクリックし、待機モードにします。



- ミラーリング機能を使用するには、デバイス設定でWi-FiをONにします。
- Wi-FiがONになっていることを確認して下さい。

2. スマートデバイスをミラーリングモードにします。

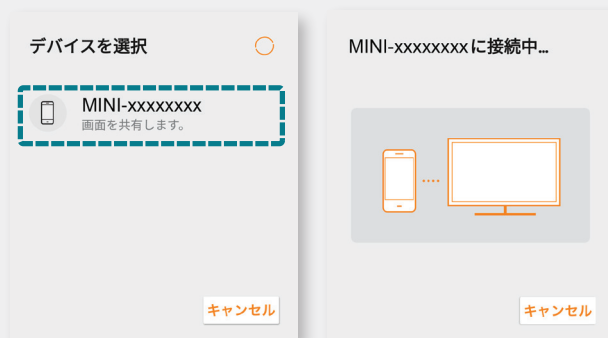
- ① スマートデバイスのWi-Fi機能をオンにします。（インターネットに接続している必要はありません）
- ② メニューの設定から「ミラーリング」機能アイコンをタップし、有効にします。



スマートデバイスメーカーやAndroid OSのバージョンの違いにより、名称やアイコンが異なることがあります。（Screen mirroring, Smart View, Miracast, Wireless Display, Smart Viewなど）



- 3 スマートデバイスに接続できるデバイスを検索します。



- 4 プロジェクターの投写画面上の、該当デバイス名を選択します。

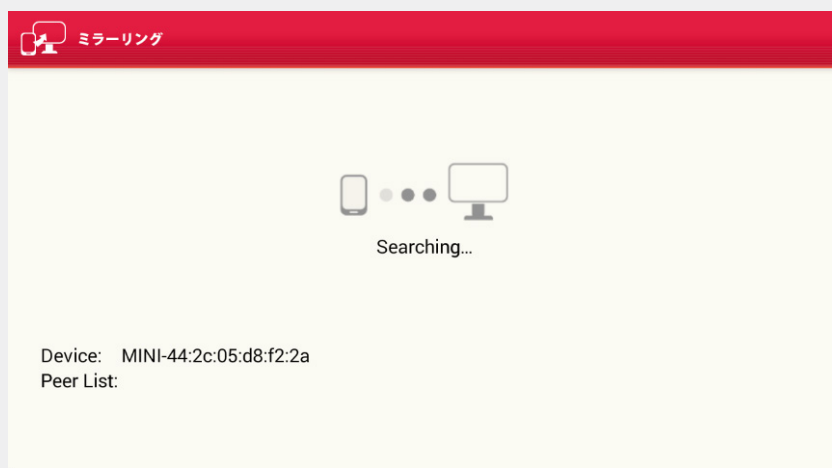


参考

- プロジェクターへ接続するデバイスの接続確認画面が表示され、接続/解除を選択できます。
- 接続を選択し、正常に接続されると、スマートデバイスの画面がプロジェクターに投影されます。
- ご使用後は、必ずスマートデバイスの「ミラーリング」機能をオフにしてください。

ミラーリング接続（Windows PCの場合）

1. ホーム画面から「ミラーリング」アイコン  をクリックして、待機モードにします。



参考

- ミラーリング機能を使用するには、デバイス設定でWi-FiをONにします。
- Wi-FiがONになっていることを確認して下さい。

2. PC 側の Wi-Fi 機能をオンにしてください。（インターネットに接続している必要はありません）

- 1 PC 画面の上でチャーム バーを出し、メニューから「デバイス」>「表示」をタップします。



参考

- キーボード左下の「Windows」キーと「K」キーを同時に押すと、すぐにデバイスメニューが開きます。
- お使いのOSバージョンにより名称が異なります。お使いのデバイスの取扱説明書をご確認ください。

- 2 表示画面から「プロジェクター」を選択します。



参考

うまく接続ができない場合は、以下の手順を再度実施してください。

1. 表示画面から「ワイヤレスディスプレイの追加」を押す。
2. 「プロジェクター」にある本機のデバイス名を選択し、デバイスの削除を選択します。

- 3 「デバイスを追加する」を選択し、本機のデバイス名を選択します。
※本機のデバイス名は「MINI-xxxxx」と表示されます。
プロジェクター画面にミラーリングされた画面が表示されたら接続完了です。

3. ご使用後は、必ず PC 側で「ミラーリング」を解除してください。



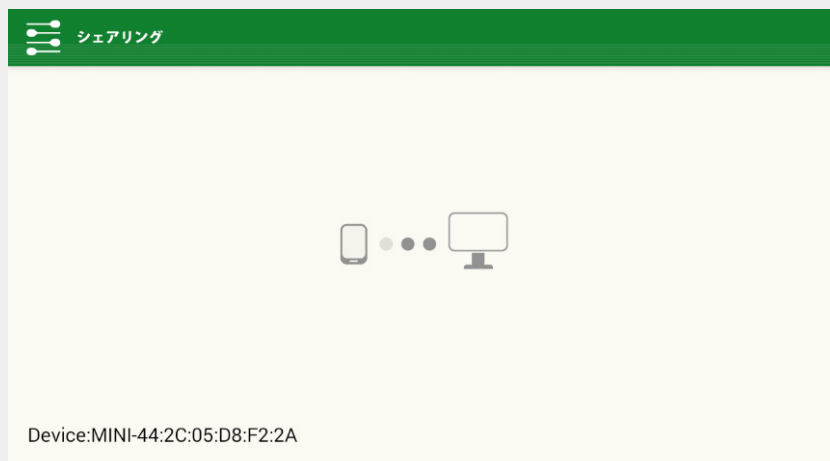
参考

ミラーリング接続中にキーボード左下の「Windows」キーと「K」キーを同時に押すと、設定ウィンドウが表示されます。設定ウィンドウで「解除」をタップします。

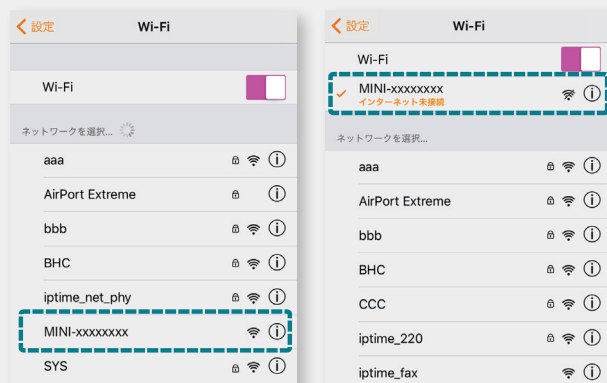
シェアリング

シェアリング接続（iOSの場合）

1. ホーム画面から、「シェアリング」アイコン  をクリックし、待機モードにします。



2. iOSデバイスのWi-Fi設定から接続するデバイス名を選択して、Wi-Fiネットワークに接続します。
※本機のデバイス名は「MINI-xxxxxx」と表示されます。



3. iOSデバイス画面の下部から上向きにスワイプしてAirplayミラーリングをオンにし、iOSデバイスと接続するデバイス名を選択します。iOSと接続するデバイスを選択した後、iOSデバイスからミラーリングされた画面が投写されたら、接続完了です。



参考

- スマートデバイスで動画を再生するときは、開始状態で再生してください。
- 動画を再生するとき、無線接続状態により若干の遅延が発生することがあります。



4. 使用後は、必ずiOSのAirplayミラーリング機能をオフにしてください。



参考

EshareServerへの登録

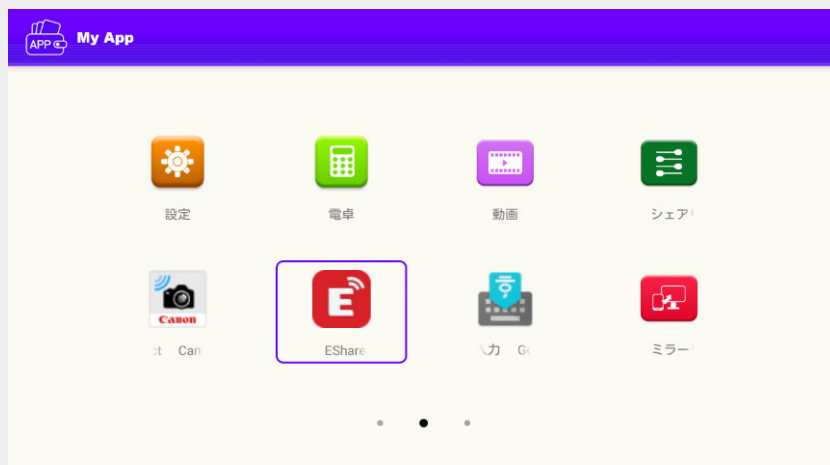
- 製品は、EshareServerに登録された状態で出荷されます。ただし、ファームウェアをアップデートすると、再び登録する必要があります。
- 登録の際、個人情報などのデータは一切収集されません。

登録は次の手順で行ってください。

- 1 インターネットに接続できるWi-Fi環境を準備してください。
- 2 My App > EshareServer () をクリックして、実行してください。
正常にインターネットに接続している場合、登録が完了します。

My App

1. ホーム画面の「My App」アイコン () をクリックし、アプリケーション画面を表示します。



2. 画面から目的のアイコンをクリックして、アプリケーションを実行します。

Webブラウザ

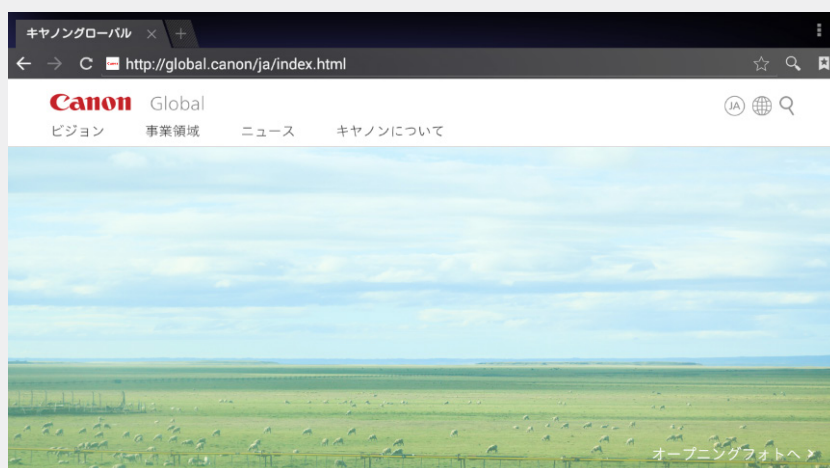
ウェブサイトへアクセスし、情報を検索したり、ブックマークに追加することができます。ただし、ブラウザを使用するためには、あらかじめインターネットに接続しておく必要があります。

1. ホーム画面の「ブラウザ」アイコン () をクリックし、Webブラウザアプリケーションを起動します。



参考

別途モバイルWi-Fiルータなどインターネット通信環境が必要です。



2. アドレス入力欄をクリックします。
3. ウェブサイトのアドレスまたは検索語句を入力し、移動をクリックします。
4. 画面を軽く下方にドラッグすると、アドレス入力欄/ツールバーが表示されます。

マルチメディア

ホーム画面の「マルチメディア」アイコンをクリックし、マルチメディア アプリケーションの起動画面に移動します。



- 1 ビデオ：動画リストを表示し、目的のファイルを選択して再生できます。
- 2 音楽：音楽リストを表示し、目的のファイルを選択して再生できます。
- 3 アルバム：静止画リストを表示し、目的のファイルを選択して閲覧できます。

設定

ホーム画面の「設定」アイコンをクリックし、デバイスの設定確認および変更可能な画面に移動します。



機能およびアプリケーション使用環境を設定します。

Wi-Fiネットワーク接続

無線ネットワーク環境に接続し、インターネットに接続したり、無線ネットワークデバイスに接続します。



参考

Wi-Fiを使用しない場合は、機能をOFFにしてください。（バッテリーの消耗防止）

1. ホーム画面から「設定」アイコンをクリックし、設定画面のWi-Fiを選択し、スイッチを押して機能をONにします。
2. 検出されたWi-Fiネットワークリストから、使用するWi-Fiを選択します。
パスワードでロックされている場合はパスワードを入力します。
3. 接続をクリックして、Wi-Fiネットワークに接続します。



参考

- 接続履歴のあるWi-Fiはパスワード入力なしで自動接続されます。
- 該当Wi-Fiネットワークに自動接続されないようにする場合、リスト上の該当Wi-Fiを長押しして、リストから削除します。

USB

- ① PC上で製品をリムーバブルディスクとして認識するためには、この設定でPC接続を選択します。
- ② PCとの接続を確認するウィンドウが表示され、使用する場合には確認をします。
- ③ 接続が完了します。PCとの接続を解除するときは、接続解除を選択してください。

音

音量の変更ができます。

- ① 設定画面で音量を選択します。
- ② 音量：音の大きさを8段階で調節できます。

ディスプレイ

文字の大きさ

：画面表示される文字の大きさを調整します。

明るさ

：画面の明るさを調節します。



参考

初期状態では、明るさが最大となっています。

ストレージ

各ストレージの使用量と空き容量の確認やストレージ内部のデータを削除することができます。また、USBメモリが本機に接続されているかどうかの状態確認ができます。

電池

バッテリー使用量と使用範囲を確認できます。

アプリ

インストールされたアプリケーションを管理し、設定を変更します。ダウンロード/SDカード/実行中/全体のアプリケーションリストの確認・管理ができます。

- ① 設定画面のアプリケーションを選択します。
- ② アプリケーションごとの設定：アプリケーションの使用環境を設定します。

セキュリティ

提供元不明のアプリケーションなどのインストールを許可するか設定できます。

言語と入力

画面に表示される言語、文字等の入力環境を設定できます。選択された言語により、一部オプションが使用できない場合があります。

言語

：アプリケーションにて使用する言語を選択します。

デフォルト値

：文字入力時に使用するキーボードを確認します。使用する言語別に選択します。

リセット

工場初期化

：製品のすべての設定値、内部メモリとストレージを初期化します。

日付と時刻

設定画面の「日付と時刻」を選択し、日付と時刻の表示方法を設定できます。バッテリー残量が完全にゼロになった場合、「日付と時刻」がリセットされることがあります。

日付と時刻の自動設定

：ネットワークで提供される時間が適用されるように設定/解除します。

日付設定

：現在の日付けを手動で設定します。

時刻設定

：現在時刻を手動で設定します。

タイムゾーンの選択

：現在位置する都市のタイムゾーンを選択します。

開発者向けオプション

USB機能などを調整できるオプションですが、なるべく使用しないでください。製品の動作・性能に問題が生じるおそれがあります。

デバイス情報

設定画面から「デバイス情報」を選択して、製品の情報を確認できます。

アプリケーション (My App)

ホーム画面のMy App () をクリックすると、表示されるアプリケーションについて説明します。

アプリケーションを使用する

音楽

カテゴリ別に音楽を鑑賞し、再生環境をカスタマイズすることができます。

- 1 My App画面の「音楽  」を選択します。
- 2 カテゴリを選択し、再生する音楽を選択します。
- 3 音楽再生画面を実行するには、画面下部のアルバムと画像を選択します。

動画

保存された動画を再生し、再生環境をカスタマイズすることができます。

- 1 My App画面の「動画  」を選択します。
- 2 リストから動画を選択し、再生します。

アルバム

保存された画像を画面に表示します。再生環境をカスタマイズすることができます。

- 1 My App画面の「アルバム  」を選択します。
- 2 リストから表示したい画像を選択します。

ファイル管理

本機の内蔵メモリ内、またはUSBメモリ接続時にはUSBメモリ内に保存されているファイルを確認できます。

- 1 My App画面の「ファイル管理」を選択します。



参考

- 内蔵ストレージ：本機に保存されたファイルを確認します。
 - USB: 外部メモリに保存されたファイルを確認します。
 - NetHood: 同一ネットワークにある共有フォルダにアクセスできます。
- 2 検索をクリックして、ファイルやフォルダを検索できます。

電卓

My App画面の「電卓 」を選択して、計算機として利用できます。

時計

アラーム設定、世界の時刻設定、ストップウォッチ、タイマー機能があります。

アラーム

アラーム設定

- ① My App画面の「時計 」→ 左上のアラームアイコンをクリックします。
- ② アラーム時間を設定します。
- ③ アラーム時間を設定してから、「完了」を押します。

アラーム ON/OFF

- ① My App画面の「時計 」→ 左上のアラームアイコンをクリックします。
- ② アラーム一覧から、削除するアラームの端の「ON」 / 「OFF」をクリックします。

アラーム解除

解除をクリックして、アラームを解除します。

アラーム削除

- ① My App画面の「時計 」→ 左上のアラームアイコンをクリックします。
- ② アラーム一覧から、削除するアラームのごみ箱アイコンをクリックします。

世界時計

世界時計の追加

- ① My App画面の「時計 」→ 左上の世界時計アイコンをクリックします。
- ② 右下の地球の形のアイコンをクリックします。
- ③ 目的の都市を選択します。
選択済みの都市は、左のチェックボックスにチェックが入り、画面上部の選択した都市一覧に追加されます。

世界時刻の削除

- ① My App画面の「時計 」→ 左上の世界時計アイコンをクリックします。
- ② 右下の地球の形のアイコンをクリックします。
- ③ 選択した都市一覧から、削除する都市の「X」をクリックします。

ストップウォッチ

- ① My App画面の「時計 」 → 左上の世界時計アイコンをクリックします。
- ② 「開始」を押して測定を開始します。記録したい時点で、記録をクリックします。
- ③ 「停止」を選択して終了します。
- ④ 継続で、再開します。
- ⑤ 「初期化」をクリックすると、リセットされます。

タイマー

- ① My App画面の「時計 」 → 左上のタイマー（砂時計）アイコンをクリックします。
- ② ソフトキーボードを呼び出しからタイマーの時間を入力します。
- ③ 「開始」をクリックすると、タイマーが開始されます。
- ④ お知らせ音がなると、「停止」を押してタイマーを終了します。

アプリインストーラー

製品内またはUSBメモリ内にあるAPKファイルをインストールできます。

ダウンロード

インターネットからダウンロードしたファイルの一覧を表示します。インストール (APKファイルの場合)、削除、ファイル名の変更などが出来ます。

EshareServer

iOSデバイスでミラーリング機能を使用するための使用登録事項に関する機能です。シェアリング機能でソースデバイスが見つからない場合、EshareServerを通じて機器登録が完了していない可能性があります。EshareServerアイコンをクリックし、機器登録を実施してください。なお、EshareServerへの登録には、別途インターネット接続環境が必要となります。

Camera Connect

キヤノンのデジタルカメラと無線接続して、カメラで撮った画像や動画をプロジェクターで投影することができます。



参考

キヤノンのデジタルカメラのうち、Wi-Fi対応機種（一部非対応）で使用できます。最新の対応については下記よりご確認ください。

(<http://cweb.canon.jp/mini-projector/lineup/m-i1/features.html>)

WPS Office

Office文書を閲覧可能なドキュメントビューアーです。

WPS Officeに関する情報は右記サイトをご確認ください。
(<https://www.kingsoft.jp/office/android>)

またWPS Officeに関する操作・設定などのサポートについては下記サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター：電話またはメールでの受付＞

TEL：0570-008-320（土日祝日除く 平日10時～17時）

Mailto：awps@kingsoft.jp または https://www.kingsoft.jp/contacts/contact_ksofa
からお問合せください。

※プロジェクター本体の操作に関するお問合せは本書の巻末に記載のキャノンマーケティングジャパンお客様相談センターまでお問い合わせください。

USB接続

リムーバブルディスクとして使用する

本製品をリムーバブルディスクとして認識させることができます。また接続したPCを操作して、本製品とPCとの間でファイルの転送ができます。



参考

- ファイル転送中には、製品と同梱のUSBケーブル（Micro-USB to USB-A）の接続が外れないようにしてください。機器とデータに損傷のおそれがあります。
- USB-HUBで接続する場合、正しく接続されないことがあります。USBは、USBポートに直接差し込んで下さい。
- USB-Type Aのインターフェースでは本機能は使用頂けません。

1. プロジェクターモードで起動します。



参考

プロジェクターモードでの起動については、「プロジェクターモードで起動する (P.12)」を参照してください。

2. 本製品とPCを同梱のUSBケーブル(Micro-USB to USB-A)で接続してください。

3. 本製品の「設定」からUSBメニューをクリックします。

4. PCとの接続状態を確認して、接続をクリックします。

5. 接続が完了したら、本製品とPC間でファイルを転送してください。

USBメモリの認識



参考

- ファイル転送中にUSBメモリを外さないで下さい。データおよび製品が損傷するおそれがあります。
- セキュリティー機能付きのUSBメモリは使用できません。

1. プロジェクターモードでデバイスを起動します。
2. 本製品のUSB接続端子（USB-A）にUSBメモリを接続してください。
3. USBメモリが外部メモリとして認識されると、USBメモリ内のデータを呼び出し可能になります。

USBマウスの認識

1. プロジェクターモードで起動します。
2. 本製品とUSBマウスを接続します。
3. マウスが認識されると、タッチパッドと同様に使用できます。

USBメモリを利用して本製品のファームウェアをアップデートする



参考

- ファイル転送中にUSBメモリを外さないで下さい。データおよび製品が損傷するおそれがあります。
- アップデートには30%以上のバッテリー残量が必要なため、本製品に同梱の電源アダプター・ケーブルを接続した状態でアップデート作業を行ってください。

1. プロジェクターモードで起動します。



参考

プロジェクターモードでの起動については、「プロジェクターモードで起動する (P.12)」を参照してください。

2. アップデートの前に、デバイスにインストールされたソフトウェアのビルド番号を確認します。
ビルド番号は、設定メニューの機器情報から確認できます。

3. アップデート用のソフトウェアを弊社ダウンロードサイトからファームウェアアップロードファイルをPCにダウンロードしてください。



参考

- ファームウェアは下記ダウンロードサイトより入手可能です。
(http://cweb.canon.jp/cgi-bin/download/select-product-by-catg.cgi?i_cd_pr_catg=019)
- アップデート対象ソフトウェアのビルド番号が、現在インストールされているバージョンより新しいものか確認してください。

4. ダウンロードしたアップデートファイルの名前を「update.zip」に変更します。

5. 「update.zip」ファイルをUSBメモリに保存します。

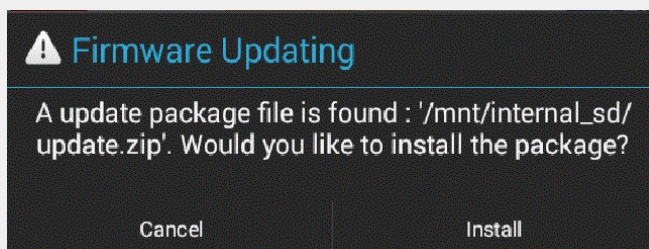


参考

- USBメモリのサブフォルダに保存、またはファイルの名前が違う場合、アップデートできません。
- USBメモリは、FAT32のファイル形式でフォーマットされている必要があります。

6. ファイルを保存したUSBメモリをデバイスに接続します。

数秒後に自動的に読み込みが開始され、下記のアップデートメッセージがポップアップ表示されます。



7. 「Install」を選択します。

自動的にアップデートが実行されます。



参考

- アップデート中、自動で電源のON/OFFが数回繰り返されます。アップデートが完了するまで、デバイスを操作しないで下さい。
- 電源を強制的にOFFにした場合、本製品のソフトウェアが損傷するおそれがあります。

8. アップデート完了後、USBメモリを外して下さい。

アップデートの後にシェアリング接続するためには、EShareServerに登録する必要があります。接続のための詳細は、「シェアリング (p.24)」を参照してください。

補助バッテリーとして使用



参考

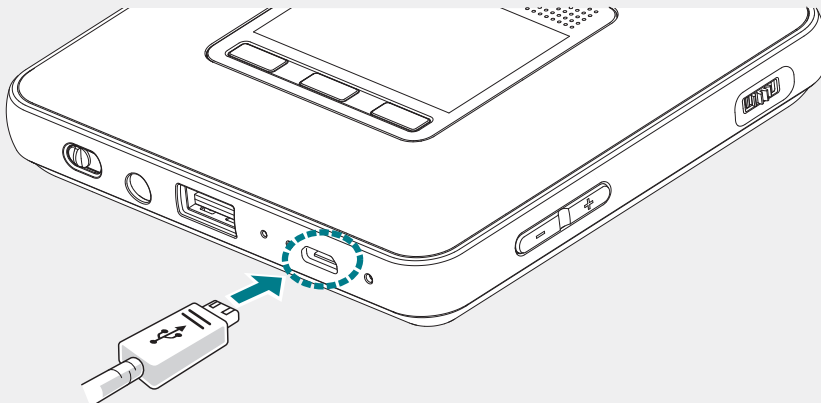
iOS搭載デバイスの充電時は、本機の電源もOnにしておく必要があります。Android OS搭載デバイスの充電時は、本機の電源をOnにする必要はありません。

1. 充電したいデバイスと本製品をUSBケーブルで接続してください。（本体はMicro-USB接続端子）



参考

- 充電量:DC5V、1A/時
- 充電可能時間はデバイスにより異なります。
- USBケーブルで本体のUSB接続端子（USB Type-A）と電源入力端子（USB micro 5pin）を接続時、異常動作などが発生することがありますのでご注意ください。.



2. デバイスが正しく充電されているか確認してください。

外部スピーカーを使用する

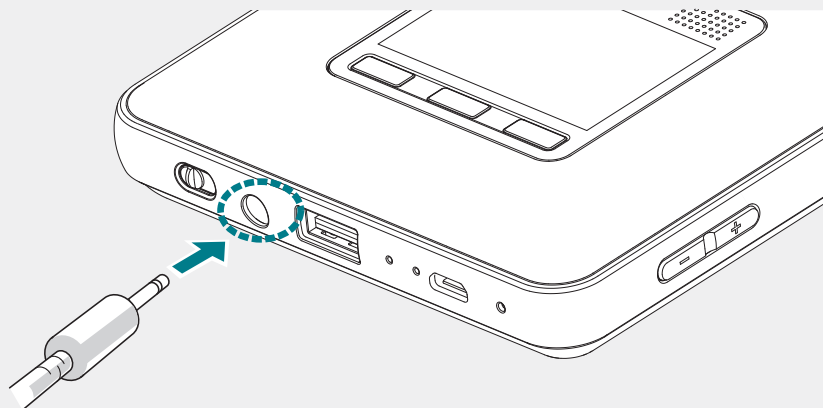
外部スピーカーを本製品と接続して音声出力することができます。



参考

- 外部スピーカー接続時、内部スピーカーは動作しません。
- 必ず外部スピーカーのみ使用してください。
- 使用しない場合は、外部スピーカーを外して下さい。

1. オーディオ接続端子に外部スピーカーを接続します。



2. 接続した外部スピーカーから音が正常に出力されているか確認してください。

困ったときには

電源が入らない

- 初期化ボタンを押して、電源をONにしてください。初期化の仕方は、「リセット (P.29)」を参照してください。
- バッテリーの充電状態を確認します。

無線接続されない

- 無線環境を確認してください。
- デバイスが無線接続できない場合、初期化ボタンを押して再起動してください。

画面が梯子状に出る

- 画面と製品の投写光が垂直になるように位置を調整します。

製品が動作しない、または電源OFFにできない

- 初期化ボタンを約1秒押してください。初期化の仕方は、「リセット (P.29)」を参照してください。

DLNA接続した後、動画を再生できない

- ご使用のスマートデバイスのメディアプレイヤーがDLNAに対応しているか確認します。
- 動画のフォーマットが合わず再生されない場合があるため、フォーマットを確認します。
- 動画のフォーマットが合わず再生されない場合、コーデック変換器を利用し、一般的なフォーマットに変換してください。

その他

- 充電器は必ずDC 5V, 2Aの正規充電器を使用して下さい。正規充電器以外の充電器を使用すると、正常に充電されなかったり、または機能に異常が生じる原因になります。

登録商標

DLNAはDLNA.orgの商標または登録商標です。

Wi-Fiはwww.wi-fi.orgの商標または登録商標です。

Bluetooth®はBluetooth.orgの商標または登録商標です。

AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

AirPlayは、米国及びその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。

その他の社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

製品仕様

製品名		ミニプロジェクターM-i1				
光学	映像素子	DMD	入力端子	USB		USB Type-A
	解像度	WVGA (854x480)		Bluetooth®		BT4.0
	最大入力解像度	Full HD (1920x1080)	出力端子	音声		Ø 3.5mm ステレオミニジャック
	光源	RGB LED		内臓スピーカー		3W (モノラル)
	画面サイズ	最小14型/ 最大84型	無線 通信	対応OS*		iOS、Android OS、Windows OS
	焦点調整	手動		規格	周波数	2.4GHz/5GHz
	アスペクト比	16 : 9			Channel	802.11 a/b/g/n
	画面オフセット	100 %	電源	製品電源入力		DC 5V, 2A
	コントラスト比	800 : 1	規格	サイズ(WxDxH)		105 X 105 X 20mm
	投写比	1.6 : 1		重量		235 g
充電ランプ	充電中	赤色	環境	動作温度		0~40 °C
	充電完了	緑色		動作湿度(相対)		0~80 % (結露しないこと)
バッテリー容量	容量	14.06Wh (3.7V, 3,800mAh)				
	充電時間	最長4時間				
	駆動時間	最長2時間				
周波数範囲		WLAN : 2412MHz ~ 2472MHz / 5180MHz ~ 5240MHz BT : 2.4GHz~2.48GHz				
アダプター仕様	アダプター種類	電源アダプター				
	モデル名	G101J-050200-1				
	製造メーカー	Dongguan Fastbon Electronics Co., Ltd.				
	入力	AC 100-240 V, 50/60 Hz, 0.35 A				
	出力	5 V  2 A				

*最新のOSバージョン対応状況については弊社ホームページ上にてご確認ください。



警告

- ・ 該当無線設備は電波混信の可能性があります、人命の安全に関連するサービスは行えません。
- ・ 電磁波の影響を避けるため、身体から20cm以上離してご使用ください。

保証とアフターサービス

この商品には保証書がついています

保証書は、本製品に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

修理を依頼される前に

「困ったときには (p.39)」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、修理をご依頼ください。

修理方法

本製品は、引取修理（機械交換修理）させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、交換修理完了後にお届けいたします。なお、本製品の代替機の貸出サービスは行っておりません。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 製品の機種名（ミニプロジェクター M-i1とお伝えください）およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後3年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

[受付時間] <平日>9:00～17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。